

児童虐待対策

青木 謙順議員
自由民主党・無所属議員団（一志郡選出）

問

県内児童相談所で受理した児童虐待の相談件数が急増し、県内でも虐待死亡事件が発生するなど憂慮すべき事態です。虐待を行う親の心理や背景はいろいろ考えられますが、複数の要因が重なっているように思えます。そこで、「発生予防・啓発」から、「早期発見・対応」や「支援・アフターケア」に至る総合的な取組が必要だと考えます。特に児童虐待に対しては早期発見・対応が大切ですが、その中でも介入や保護に重要な役割を担う児童相談所では人手不足が考えられ、十分に対応しきれているか疑問です。また、児童相談所にある一時保護所や児童養護施設も満員と聞きますが、こうした現状にどのように取り組まれるのか、県の所見をお聞きます。

答

「県民しあわせプラン」の中間案でも、緊急かつ優先的に取り組むべき課題の一つとして「児童虐待緊急対応プログラム」を取り上げ、既存の施策と併せて、児童虐待の発生予防から、発見・再発防止、保護・自立に至るまでの総合的な対策を構築することで、県内の全ての子どもたちが安全かつ健やかに育っていく環境を整備していきたいと考えています。また、一時保護の場の確保が重要になっており、本年度から、特に入所施設が不足している乳幼児

のための保護の場について、医療機関等を含めた関係機関の協力により確保を図っているところです。

- その他の質問事項
過疎地域と中山間地域の施策 他



三重県中央児童相談所

文化政策

前田 剛志議員
新政みえ（津市選出）

問

平成十四年度に「さん」プロジェクトがスタートしました。これは、津市にある県総合文化センターを真の総合文化拠点として機能させ、その周辺にある美術館や博物館などを含めた津駅西口からの総合文化ゾーンの構築をめざすものです。一方、現在県では、新しい総合計画となる「県民しあわせプラン」を策定中で、先に公表された中間案では、重点的・優先的に取り組む重点プログラムに、この「さん」プロジェクトが取り上げられていません。

これは文化政策の新たな中心となるものであり、是非追加すべきものと考えます。また、同センター周辺でも、例えば遊歩道などハード整備も行いながら、この地域を文化的観光地へと進化させてはどうかと考えますが、所見をお聞きます。

答

「県民しあわせプラン戦略計画」においては、「さん」プロジェクトがめざすところを「文化が身近に感じられる環境づくり」という施策のなかで展開し、重点プログラムではなく、継続的な取組として総合行政により進めていきます。具体的には総合文化センターの複合機能を活かして、多様なニーズに対応できる環境づくりを進めるとともに、県内の他の文化施設等との連携を進めるなかで、津駅西口の文化施設の一体的な運営について検討を行っていきます。また、ハード整備などについて



三重県総合文化センター

では、地域と協働しながら、様々な実施主体に対し働きかけるなど、津駅西口からの総合文化ゾーンづくりを進めていきます。

- その他の質問事項
みえの元気づくり 他

システム監査制度の導入

津田 健児議員
自由民主党・無所属議員団（四日市市選出）

問

現在、電子政府化が図られ、県でもIT（情報技術）を活用して住民サービスを提供するシステムの構築が進められています。便利な社会の構築につながる一方で、トータルコストも膨大なものになります。実際、県のシステム関係の予算規模はここ三年間で二百六億円にも達しています。こうした経費については、事業の細かい中身が理解できなければその妥当性が判断できません。また、「美術品のように言い値で決まるところがある」との指摘もあります。そこで、こうしたシステムの経費等の妥当性を検証する仕組みとなるシステム監査制度の導入が必要と考えますが、所見をお聞きます。

答

現在、各部署で行うシステム構築においては、個別の技術面での支援を情報システムの専門家から得ています。しかし今後は、各システム間の連携や開発から運用・保守に